

これからの スマートシティを考える

東京大学大学院経済学研究科

柳川 範之

スマートシティの可能性

スマートシティは、

今後の地域経済、そして、

日本経済全体にとって大きな起爆剤に

言葉に関する誤解

「スマート」

技術中心の冷たい町づくりではないのか？

「シティ」

大都市だけのものではないか？

いずれも非常に大きな誤解！

人中心の町づくり

- **人々のニーズを
しっかりくみ取った町づくり**

**それが技術をうまく使うことによって
可能になってきた
あくまで手段！**

- **どんな規模の都市・町にもその可能性がある
それぞれに合わせた議論が必要**

それぞれの町のために

町の利便性を高め、より豊かにするためには

- **データの積極的な利活用**
- **新しいサービスの提供や事業展開の促進**

を考えていくことが重要

ニーズがくみ取れているのか？

- **そのためには、人々のニーズを
しっかり把握したうえでの**

**データ活用
産業創出
町づくり**

を行っていくことが必要

しっかりニーズが

把握できているのか？

ニーズの実現という方向性から

全体が組み立てられているか？

- **世界全体で価値観の変革期**

サステイナブル

SDG s

自然との共生

社会課題に対する意識

日本は世界に向かって

新しい価値観を提示すべき国

**自然との共生
人中心**

を柱とした

**新しいスマートシティの概念を
日本から
世界に発信していくべき**

- **それぞれの町のニーズに合った
木目の細かいコンセプトづくり**
- **全体に共通したデータ処理の
共通基盤・プラットフォームづくり**

この二つの両立がカギ

データの利活用

- ・ **IoTの発展等によって**
これからは、町全体が、様々な情報やデータを
ほぼ自動的に生み出す環境に
- ・ **それをどう分析し活用していくか**
- ・ **個人情報やプライバシーの保護を図る**
個人に紐づかないデータの有用性

行政の効率化

いかに行政サービスの効率化に役立てるか

行政のデジタル化がまずは必要

**民間側の知恵で、改善・効率化できる
部分も多い**

**新しい民間のサービス、
縦割り構造にとらわれないサービス**

データに関する誤解

必ずしもビッグである必要はない

スモールでも深いデータに意味がある

必ずしもハイテクである必要はない

**住民の目や足によって提供される
情報にも大きな意味がある**

いかにニーズに合わせて有効活用するかがポイント

より多様なサービスを生み出す

今までの発想にとらわれない

**新しいサービスを生み出すことが
スマートシティの大きなポイント**

既存のサービスや、既存の縦割り構造にとらわれないサービスを、民間がいかに生み出せるか